

篠路駅周辺地区 第5回地域協議会

令和4年10月11日（火）

札幌市
まちづくり政策局都市計画部
事業推進課

0 本日の内容

1. 前回のおさらいと補足

1-1 第4回地域協議会のおさらい

1-2 第4回検討委員会の報告

<質疑応答>

2. まちづくり計画について

2-1 まちづくり計画（素案）の確認

<質疑応答>

3. 地域主体のまちづくり活動について

3-1 シノロリビングvol.2について

<質疑応答>

3-2 今後のまちづくり活動の展開について

<質疑応答>

1. 前回のおさらいと補足

1-1 第4回地域協議会のおさらい

篠路駅周辺地区まちづくり計画 第4回地域協議会での

まちづくり計画案・次回社会実験へのご意見と対応について

第5回地域協議会資料 **別紙 1-1**

ご意見概要（市有地、駅前街区に関する意見などについて）	回答・対応の方向性
<p>【第2回シノロリビングの企画案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 想定している社会実験の時間帯を教えてください。 ● 前回、準備期間が短かったこと、寒い、周知活動が開催直前だった、ということがあった。スモールスタートということだが、<u>社会実験がまちづくりにもたらす明確なビジョンは？人が集って楽しむイベントではないということだが、どんな実験か。</u> ● <u>人を集められるポテンシャルを發揮できないのではないか。例えば地域の人が来場しやすい土日に開催することも考えられる。</u>成功するためポイントに絞った企画になるとよいと思った。先日、数年ぶりに篠路神社で催事を行い、たくさんの集客があったことを踏まえると、飲食が数多くある方が、活気があり、コミュニティが広がると思う。 ● 第3回検討委員会のご意見の回答で、“交通広場として設計を終えています”とあるが、この社会実験を通じて必要があれば、交通広場について再度議論を行うということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 10時から20時を想定している。今後の調整を進めて最終的に決定する。 ● 10年後の姿を見据えたまちづくり計画を策定しているが、1点目は、そこで目指す場が地域の中で必要なか、事業者等の需要があるのか、<u>そうした場が実現する可能性があるのかを検証したい。</u>市有地や駅前街区の整備が進んでいった際に、<u>社会実験で行っている取組や検証結果を場づくりへ反映させていきたい、</u>という大きなプロセスを想定している。2点目、<u>ハード整備が終わった際に場を使った取組を行う体制が地域にあるのか</u>がポイントであり、場を使われるような仕掛けをしていきたい。そうした機運が地域のコミュニティにあることが大事なので、<u>社会実験を通じてスモールスタート進めていきたい。</u> ● 人が集まる仕掛けは考えてなくてはならない一方で、<u>必ずしも人が来ることが成功としては考えていない。</u>土日に人が集中することが分かれば平日は別の使い方を、一週間を通して賑わいが作れるならそのような広場にしていこうなど、検証を踏まえて場の整備に活かす。使われないと寂しい空間になるので、社会実験の形で、篠路でどれぐらい使われるのか、平日も含めて検証が必要だと考えている。交通広場としての施設整備は決定しているが、駅前街区との連携などソフト面での空間の使い方は提案の可能性はあるという意図を含めてご回答している。
<p>【まちづくり計画策定後の展開について】 ※全体発表・総括のとりまとめ</p> <p>—1 班目—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会実験にしろ、まちづくりにしろ、まずはまちづくりを進める具体的な目的をまとめるべき。 ● 具体的な目的を明確にするためには、更なる課題や問題点の抽出が必要と考える。 ● 既存の組織から代表者を選出した「<u>新たな組織（公式な）が必要と考える。</u>その中でお互いが抱える課題や悩みを話し合い、<u>地域全体で目的を明確化する。</u>」 <p>—2 班目—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これからできる駅前の空間（道路や駅前広場など）を活用する人は特定の事業者や建物の方ではなく、<u>空間全体をエリア全体でプロデュースするよう仕組む必要がある。</u>地域の人がしっかり関わるべきである。 ● <u>シノロリビングも単に場を作るだけでなく、地域が入り込みきっかけに利用したほうがいい。</u> ● 「関わる地域の方」は課題で、世代や人がはっきり見えていない。<u>シノロリビングをきっかけに、関わりたいと思う若い人も関われる場</u>にするとよい。 ● 漠然とまちづくりなどではなく、<u>テーマ（例 子供、高齢者等）を明確に決めて集まるきっかけを作る方が、集まるかどうかの検証もしやすい。</u> ● シノロリビングを地域交流の場にしていくには、<u>地域協議会の場（地域協議会 2.0）が引き続きあり、企画を出し合える場が必要で、次の</u> 	<p>—まとめ—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 篠路には多様な組織による地域活動が行われており、そうした活動を駅前に繋げていくとエリア価値が高い街になると。加えて、この場にはいない方々をしっかり巻き込む機会が必要。 ● シノロリビングが人づくり・まちづくりのきっかけになるし、活用していくべき。それを通じてまちづくり計画に位置付けているハード整備が進んでいく中で、篠路を担えるまちづくり・人づくりに繋がると良い。

詳細は 別紙1-1 参照

1-2 第4回検討委員会の報告

篠路駅周辺地区まちづくり計画 第4回検討委員会の
ご意見と対応について

第5回地域協議会資料 別紙1-2

分類	ご意見・質疑の概要	回答・対応の方向性
まちづくり計画 について	<ul style="list-style-type: none"> ● 現況のまとめは、「課題」なのか「期待されること」なのか明確にしたほうが良い。 ● 概要版の土地利用計画図は本編のまちづくり方針図等をまとめたものだが、分かりやすく構成したほうがよい。 ● 西側の顔づくりでは賑わいがなく、東側も同様にならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現況のまとめについては、得られた課題と課題を踏まえたまちづくりの「視点」として、再整理する。 ● 概要版と本編の整合を図るため、本編の図面もまちづくり方針図として再整理する。 ● 駅前街区に土地利用計画図にて「望ましい機能」として記載している買物施設や商業施設などの機能が加わるよう、具体化を進めていきたいと考えている。
シノロビングについて	<ul style="list-style-type: none"> ● シノロビングの開催場所では集客できる人数が少ないので、<u>倉庫などを開放して、開催場所を広げることはできないのか</u>。昨年度の来場者数を教えて欲しい。 ● 今年は篠路で活動されている方々（歴史・文化活動など）を社会実験の場を集めて展開されるということだが、将来的にシノロビングを続けていながら、<u>まちづくり活動が見える化</u>していくと良い。 ● 子どもたちと交流や若い世代を巻き込みが重要。<u>次代を担う若い世代に参加</u>していただき、意見やアイデアを頂戴したい。 ● 篠路の特長でもある自然や文化など地域の方の視点、若い世代の視点で<u>篠路地区に必要なアイデアを出せる場、シノロビングに参加したいと思える場づくりが大切</u>だと思う。日常的にシノロビングを開催していくのであれば、自由に来ていただき<u>意見交換などが出来る場</u>があれば面白い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● シノロビングは、夏祭りのような大規模なイベントではなく、駅前の「<u>日常的な賑わい</u>」を目指しており、<u>日常的に実施できる規模での開催を検討</u>していきたい。昨年度の最も多い来場が多かった土曜日は約150人程度。 ● 皆様の活動や様々な取組を皆様と一緒に、知ってもらうことが、見える化も含めた<u>社会実験としての目的の達成</u>につながると考えている。 ● 令和4年度の社会実験にて、篠路の文化を良く知る篠路歌舞伎保存会の皆さんや<u>実験参加者と今後のまちづくりを語るトークイベントを実施</u>。 ● 令和5年以降の地域主体のまちづくりに向けて意見やアイデアを議論できる会議（場）について検討していく。
まちづくり活動の今後の展開について	<p>【組織のあり方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若い世代が自由にアイデアを出せる場と会議を行う場の2体制で動くのもいいのではないか。 ● 「新たな組織が必要」という意見が多かった一方で、<u>急に地元のみで運営することはハードルが高い</u>と感じるため、<u>自走が可能になるまでは、議論や活動を行う際に札幌市が入った方がよい</u>。 ● 将来は「気軽に話し合える場」のほか「地域協議会」の様な地元の方が集まる場が必要であり、<u>まちづくり計画のPDCAサイクルを確認する組織</u>がそれに該当すると思う。 ● 地域で活動している団体も参加してほしい。 <p>【シノロビングの展開について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年以降、シノロビングは実施しない方針か。 ● <u>地域のイベントとして継続した方がよい</u>。地域の方や業者の支援をいただければ、<u>継続することは可能か</u>と思われる。また、それをきっかけに<u>地域の方との交流や意見交換</u>していく。<u>今後は季節や場所を変えながら実施</u>してもよい。 <p>【空間整備等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「公園」と定義してしまうと、実際に利用するにあたり、地域が利用し難い規制が発生する。<u>キッチンカーを入れるなど、地域が活動しやすい空間にして欲しい</u>。 ● 交通機関を充実させないと人が集まらないと思う。 ● 鉄道高架について、駅の規模や高架下の遊休スペース活用、道路の東西接続状況などを確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● (第5回地域協議会の議題提案) ● (") ● (") ● (") ● 地域主体の活動に向けて実施の形は変わっていくが令和5年以降も<u>継続できるようにしたい</u>と思っている。 ● (第5回地域協議会の議題提案) ● 空間の定義については今後の議論が必要だが、<u>地域が自由に使えるものを目指したい</u>。 ● 今後のまちづくりを通じて人が集うようになり、需要が生まれてくれば、交通機関も充実していく可能性があると考えている。 ● 今後の活動を通じて、高架下の活動について、色々な可能性や将来性が見えた段階で、色々と検討・協議させてもらいたい。

詳細は 別紙1-2 参照

1 前回のおさらいと補足

質疑応答

前回のおさらいと補足

1. 第4回地域協議会のおさらい
2. 第4回検討委員会の報告

について、ご質問・ご意見があればお願いいたします。

2. まちづくり計画について

2. まちづくり計画について

2-1 庁内協議のご報告

2 まちづくり計画について

まちづくり計画の策定に向けて

地域協議会 検討委員会

令和
2年度

第1回
令和2年9月11日開催

済

第1回
令和2年10月7日開催

済

・ 篠路駅周辺地区の現況とまちづくりの方向性について

令和
3年度

第2回
令和3年10月5日開催

済

第2回
令和3年10月28日開催

済

・ まちづくり重点エリアの方向性について

第3回
令和4年1月21日開催

済

第3回
令和4年1月31日開催

済

・ 今後のまちづくりの展開について

令和
4年度

第4回
令和4年6月14日開催

済

第4回
令和4年6月28日開催

済

・ まちづくり計画（素案）の確認

第5回
令和4年10月11日開催

パブリックコメント 令和4年11月～12月 実施予定

第5回
令和5年1月開催予定

・ まちづくり計画（案）の最終確認

まちづくり計画の策定（令和4年度末）

2 まちづくり計画について

質疑応答

まちづくり計画について

1. まちづくり計画の策定

について、ご質問・ご意見があればお願いいたします。

3. 地域主体のまちづくり活動 について

3.地域主体のまちづくり活動 について

3-1 シノロリビングvol.2について

3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要

篠路駅前広場をつくる社会実験
シノロリビングvol.2
—新しいシノロの日常をつくる—
2022.8.25(thu)～28(sun)

【ポイント】

- ◆ 夏季の実施
- ◆ 取組コンテンツの拡大
- ◆ 多世代の交流
- ◆ 地域連携

前回から継続・発展



飲食や憩いの場



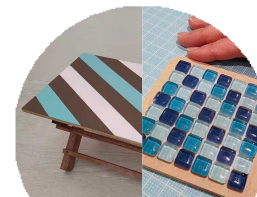
組立和室



図書とのふれあい



買い物の機会



チャレンジの機会



語らう機会



夜間の照明



文化の発信・体験



場づくりへの参加



親子の体験

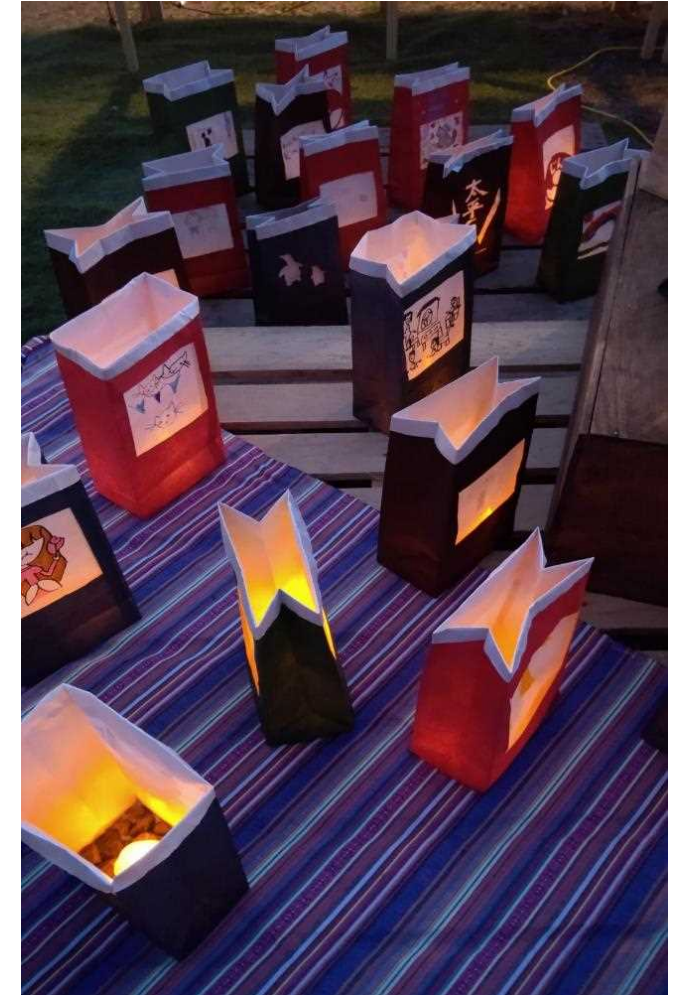
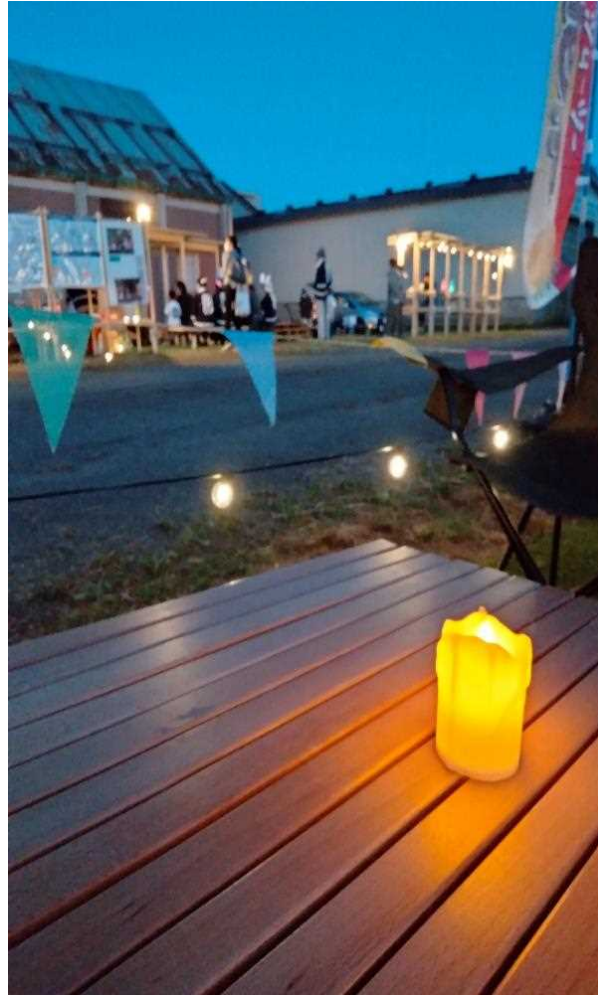
3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要 ～ 昼の設え ～



3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要 ～ 夜の設え ～



3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要 ～ キッチンカー ～



3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要 ～ 野菜マルシェ・図書・キャンプ空間 ～



3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要 ～ ステージ活動 ～



3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 ～ 映像放映(北区保護司会・篠路子ども歌舞伎) ～



3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要 ～ ワークショップ ～



3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要 ～ トークイベント ～



3-1 シノロリビングvol.2について

シノロリビングvol.2 結果概要

空間利用状況

- 4日間で計約850人が利用
- 平日・休日ともに20時ごろまで来場者がみられた
- 飲食の利用者が多かったが、ほかのコンテンツと組合せた活用も多く見られた
- 40代が最も多く、次に30代、50代と続く
- シノロリビングを目的に来場する方が多い
- 「子供と」一緒に来場する方が多い
- 篠路駅周辺からは26%、北区北部3地区からは64%を占めるが、昨年よりも広域から来場する方の割合が増えた
- 徒歩30%、自動車利用は25%で去年より減少した一方、鉄道を利用する方の割合が14%に増加した

運営者の意見等

- キッチンカー等出店者の売り上げは概ね良好
- 座席数の不足や広報方法など改善の余地あり
- 継続的な活動、地域中心の取組を求める意見がみられた
- 天候への対応に関する意見がある一方で、屋外のメリットを重視する意見も見られた
- デザインの重要性を再認識（地域資源・照明等）

利用者の意見等

- 多機能の組合せから多世代の交流が生まれた
- 集える場所、立ち寄れる場所が欲しいという意見が多く見られた
- マルシェや地域のチャレンジなどを求める意見がみられた
- 「満足・まあ満足」は72%で、昨年より満足と答える人の割合が増加した

【考察】



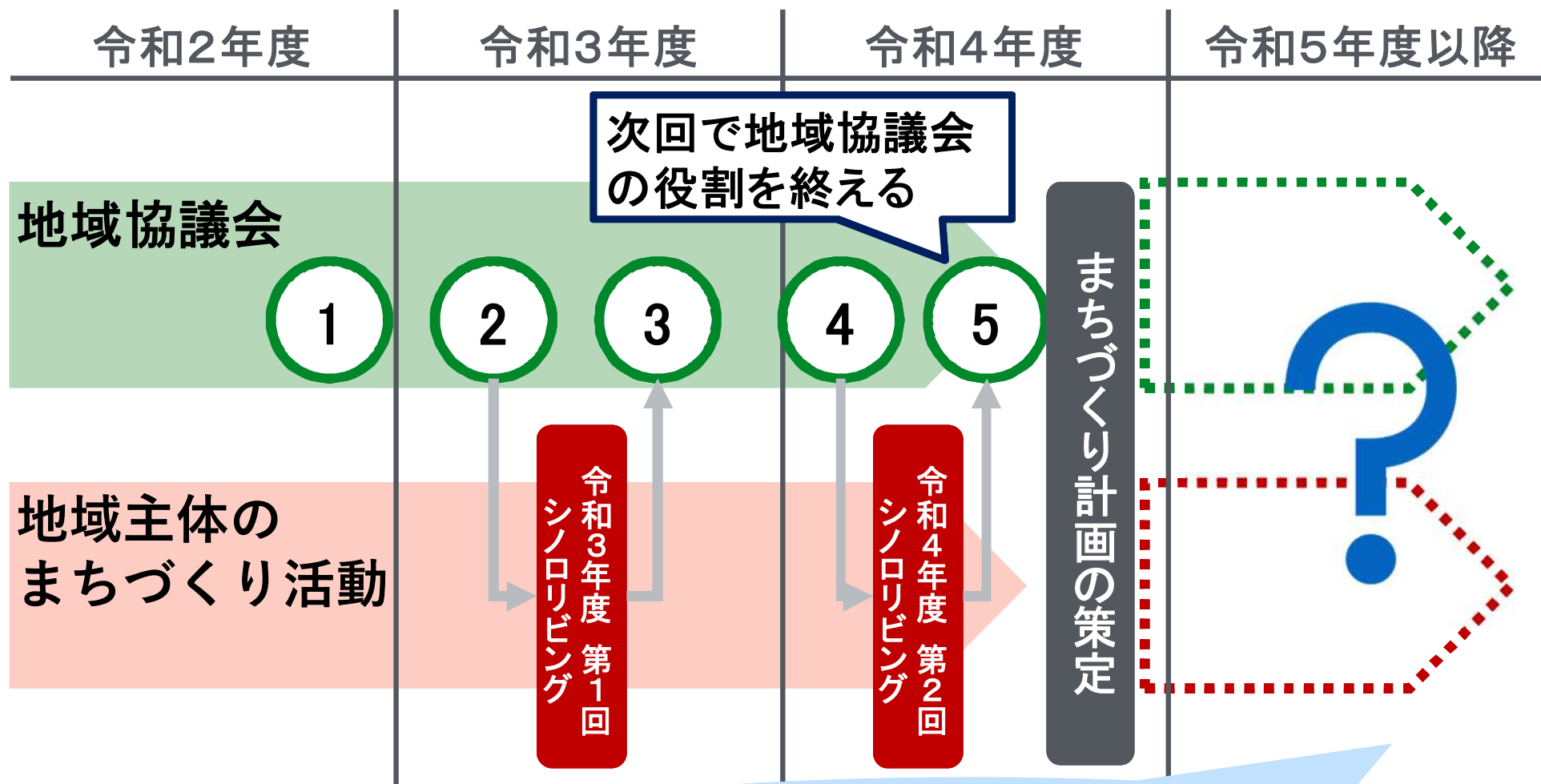
- ・ 広場の需要が確認されたことに加え、地域のチャレンジ、地域中心の取組など、今後の活動を求める声があり、継続的な活動体制を検討していくことが重要
- ・ キッチンカーやワークショップなど、様々な活動の可能性が確認された
- ・ 子育て世代の来場が多く、若い世代が住み続けたいまちづくりにつながる取組であった一方、若い世代が主体的に考えて取り組むことの重要性が確認された

3.地域主体のまちづくり について

3-2 今後のまちづくり活動 の展開について

3-2 今後のまちづくり活動の展開について

前回(第4回)地域協議会のおさらい



まちづくりに関わる地域組織がない
⇒ 今後、地域はどのように関わる？

3-2 今後のまちづくり活動の展開について

前回(第4回)地域協議会のおさらい

これからの「地域のまちづくりへの関わり方」について意見交換



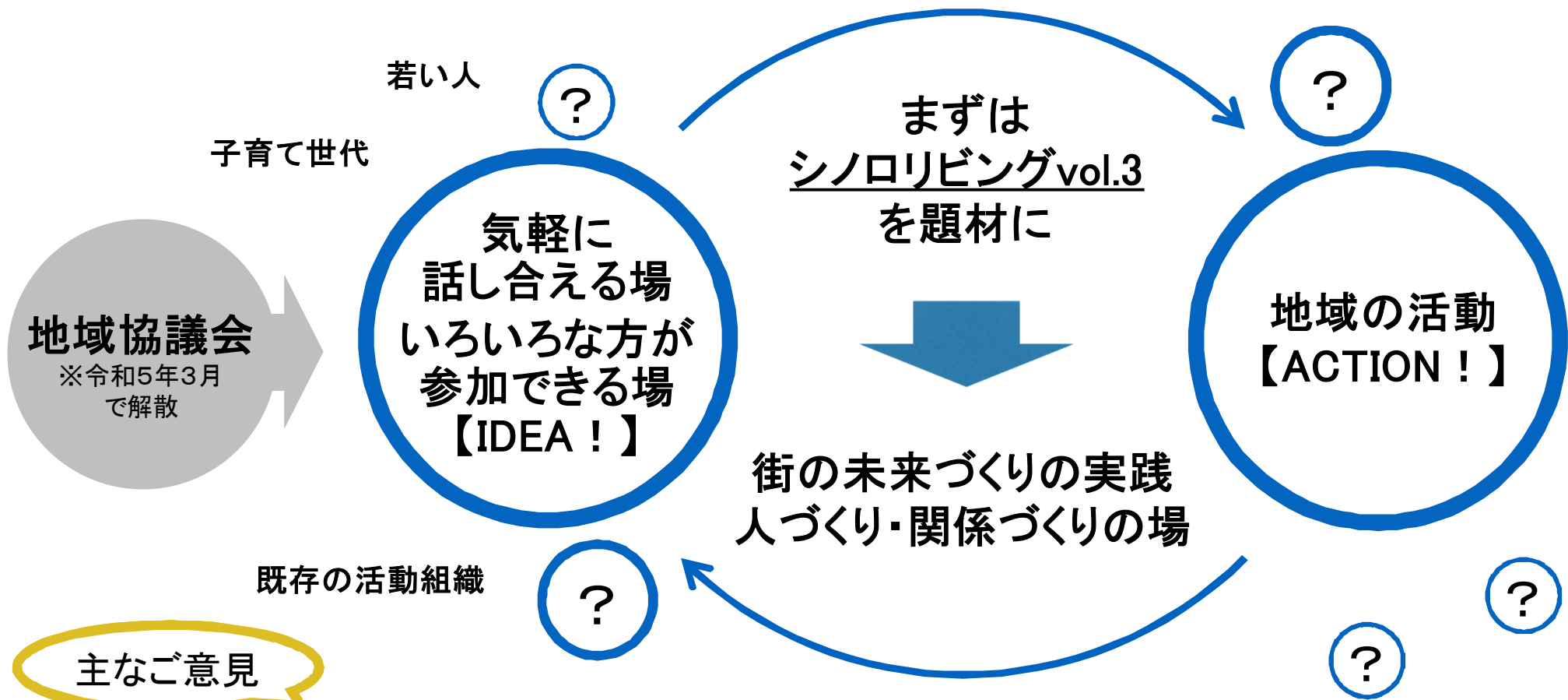
主なご意見

- 引き続き企画を話し合える場、意見が出し合える場が必要
- 関わりたいと思う人が集まれる場
- 自主性が重要、成功体験を積み重ねられるとよい

...

3-2 今後のまちづくり活動の展開について

第4回検討委員会での議論について



- 若い世代が意見を言いやすい場づくりが重要
- 継続した取組になると関わりができるきっかけにもなる
- 実走ができるまでは行政がサポートに入ったほうがよい …

3-2 今後のまちづくり活動の展開について

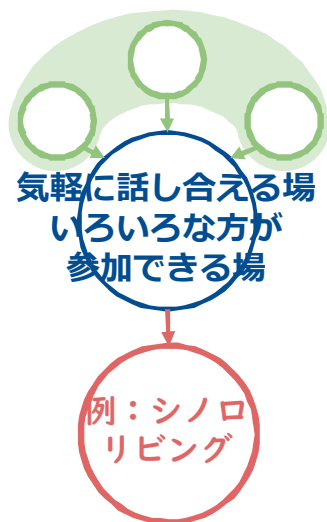
今後の展開のイメージについて

今後の展開のイメージ

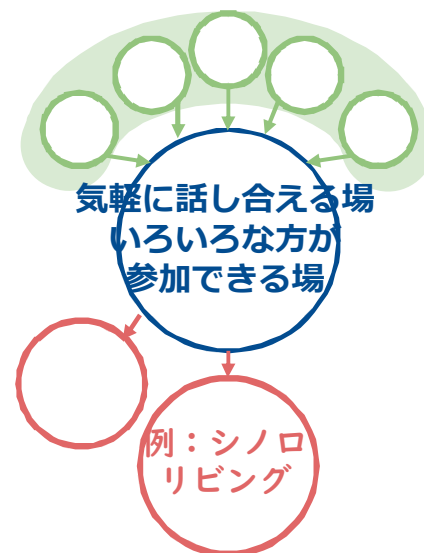
まずは…



①初動期



②助走期



③事業後



仮称

篠路OPEN！ Meeting

- 継続できる取組を検討！
- 楽しみながら取り組むことが大切！
- スモールスタートから取組・繋がりを育てる！

3-2 今後のまちづくり活動の展開について

地域協議会

- ◆ 引き続き企画を話し合える、意見を言しやすい場が必要
- ◆ 若い世代の意見も積極的に入れるべき
- ◆ 関わりたいと思う人が集まれる場
- ◆ 自主性が重要、成功体験を積み重ねられるとよい
- ◆ シノロリビングも地域が関わるきっかけ

検討委員会

- ◆ 若い世代が自由にアイデアを出せる場づくりが重要
- ◆ シノロリビングは継続した取組になるとよい、関わりができるきっかけにもなる
- ◆ 実走ができるまでは行政がサポートに入ったほうがよい

シノロリビング

- ◆ 主役は地域:気持ちを持つ人がキーとなり、町内会等が関わるべき
- ◆ 集まって語り合えるイベントが時々あるとよい
- ◆ 地域の愛着を育てるには対話する機会が重要
- ◆ 地域がチャレンジできる場があるとよい

仮称

篠路OPEN! Meeting

行政支援

- 開催の支援
- 連絡調整 など

まちづくり計画

空間・資源の活用
多世代の交流
コミュニティ形成...

実現

気軽に
話し合える場
いろいろな方が
参加できる場

いつから始める?
どんな人たちで始める?

- 「日常的な居心地」を良くしてまちを魅力的にする取組
 - 活動を通してまちを楽しみながら徐々に活動者・協力者を増やす取組
- 等により『街に小さな変化』を生み出していく場(アクションファーストの場)